

ずししかんきょうかいぎ ニュース

第13号 2005年10月

事務局 逗子市環境部環境管理課

逗子市逗子5-2-16

TEL 046-873-1111 内線 254

発行 ずしし環境会議 (エコリーダーズ会議)

市民まつりに参加します

いろいろな展示のなかで市民のみなさんにも環境保全に関心を持っていただこうと、ずしし環境会議 (エコリーダーズ会議) は、今年も市民まつりに参加します。

★ 日 時：10月23日(日) 小雨決行

10:00~16:00

荒天の場合は10月30日(日)

☆ 場 所：第1運動公園



(昨年度の市民まつりの出展状況)

****エコファミリーチャレンジ(逗子市 市民版ISO)に参加しませんか?****

エコファミリーチャレンジは現在 105 名の方が登録し、普段の生活の中で、できることから地球にやさしい暮らしに取り組んでいます。まずは、市役所の環境管理課にエコファミリーチャレンジ宣言をしてください。(郵便・Eメール・ファックスでも受け付けています。) みなさんもチャレンジしてみませんか?

エコファミリーチャレンジステップ1

エコファミリー
チャレンジ宣言

チャレンジ項目
に3ヶ月間取り
組む

取り組み状況をチ
ェックし、チェックシ
ート(3ヶ月用)を
事務局に提出

事務局で取り組みの
確認後、「エコファミ
リ認定証」を発行

エコファミリーチャレンジステップ2

(次のステップへ挑戦)

みなさんは生活の中でどれだけのCO2を排出していますか?暮らしの工夫でCO2排出量を減らし、地球にやさしい生活をするため、電気、ガス、水道などの使用量からCO2の排出量を計算し環境家計簿をつけてみましょう。ステップ2のみの参加もできます。

ずしし環境会議(エコリーダーズ会議)では会員を募集しています!!

ずしし環境会議では、環境に関する様々な取り組みを行っています。活動は月1回程度の定例会、年1回の総会、交流会、環境月間(6月)や市民まつり(10月)における展示などです。会員になって環境に関する活動を始めてみませんか。

★ お問合せ・お申込は★ 事務局 一環境管理課一

TEL 046-873-1111 内線 254 FAX 046-873-4520 E-mail kankyo@city.zushi.kanagawa.jp

まちなみと緑の創造部会

当部会では、「逗子のまちなみと緑を次世代にどのように伝えるか」をテーマとして活動を続けています。

『田越川さかな調査』をはじめます！！



カワセミ
田越川のどの魚を
食べて暮らしている
のでしょうか？
そんなことも気にな
ら調査をしましょう！

逗子の身近な自然を考えたときにみなさんはまず何をイメージ
しますか？海ですか？山ですか？身近な自然として”川”を
イメージする方は少ないかもしれません。しかし、
海は”川”の終点です。山は”川”の始まりです。

逗子に降った雨のほとんどは田越川を
経由して海に流れます。

逗子の海と山をつなぐ田越川

は逗子の自然環境を考える
ときにとっても重要な要素
であると考えます。

私たちは2003年度から
『田越川ウォッチング』と称して

田越川とその支流である池子川、
久木川の定期的な観察を続けてきました。

その中で、この川が、多様な生き物がくらす、
とても身近で価値のある自然であるということを実感しています。

この川をより良い状態で次世代へ伝えるために、この川の現状をしっかりと
把握したいと思います。この川にどんな生き物が暮らしているのか、まずは魚
類を中心とした調査をはじめたいと思います。

ホームページを用意しました。調査日程、結果など掲載します。ぜひご覧下さい。
<http://www.city.zushi.kanagawa.jp/syokan/kankyo/tagoegawa/index.html>



田越川の魚類相の経年変化

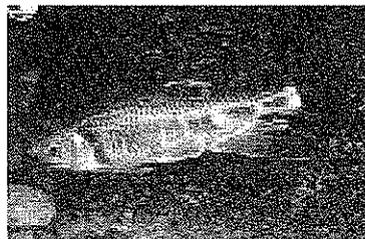
○:確認 ×:未確認 ? :不明

魚の種類	過去の魚類調査結果		田越川ウォッチング
	1973年	1991年	2002~03年
アユ	×	×	○
ホトケドジョウ	○	×	×
ドジョウ	○	×	×
メダカ	○	×	×
アブラハヤ	○	○	?
オイカワ	○	○	○
ギンブナ	○	○	○
ウナギ	○	×	○
チチブ	○	○	○
ヨシノボリ	○	○	○

1973年: 横須賀博物館『三浦半島淡水魚類調査報告』より
1991年: 逗子市河川下水道課『魚類相調査』より

湧水のような高い水質を要求するホトケドジョウや、河川改修により生息環境を失ったメダカは残念ながら、既にいなくなってしまうと考えられます。しかし一方で、近年、アユが遡上していることが田越川ウォッチングで確認できています！！

73年、91年に比べて何がなくなったのか？何が戻って来たのか？何が増えていて何が減っているのか？そんなことを知りたいと思っています。



↑ オイカワ: 繁殖期のオスは美しい！



↑ アユ: 毎年戻ってくる川を守りたい！

『田越川さかな調査』参加者募集！！

～川ガキ気分て魚捕りをしませんか？～

協力: 神奈川県環境科学センター、横須賀市博物館 (予定)

日時: 2005年10月22日(土)

10時～12時頃迄

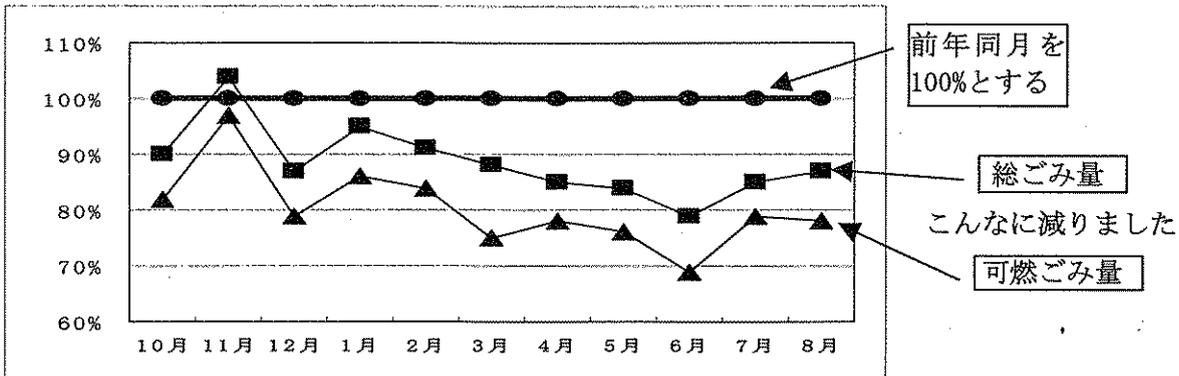
場所: 田越川(丸山病院裏上図④)

申込: 逗子市環境管理課 TEL(046-873-1111)

- ※専門知識は不要です。どなたでもご参加頂けます。
- ※お子様は安全管理のできる保護者同伴でお願いします。
- ※日時場所は変更する可能性があります。
- ※詳細はお問い合わせください

ごみ問題部会

(1) 逗子市のごみ量は？ (前年度同月比)



容器包装プラスチックの分別資源回収をする前の年と分別資源回収を始めた 2004 年 10 月からのごみ量を前年度の同じ月を 100%として比べたものです。

昨年 6 月に比べて今年の 6 月の燃やすごみの量は 31%も減りました。

ごみ量全体も 21%減っています。市民のみなさん、なお一層の努力を続けましょう。

(2) ごみ箱なしの市民まつり！

今年の市民まつり (10 月 23 日 (日)) では会場にごみ箱を置きません。つまり自分のごみはそれぞれ自宅にお持ち帰りいただいて、洗って、市の容プラ収集に出してくださいということです。

昨年の逗子市の容プラはコークス代わりに燃やすリサイクルでしたが、今年はプラスチックに再生されます。それにはきれいに洗った質の高い容プラでなくてはなりません。そこで、まつりのごみもお持ち帰りいただいて洗って資源化できるかたちで出していたくために、お持ち帰り方法をとりました。

おまつりにおいでの際はできるだけごみ袋をご持参ください。

市民のみなさんの一人一人の行動が地球を救う大きな力になります。次世代に美しい地球を残すためにみなさま方の少しの努力をご提供ください。



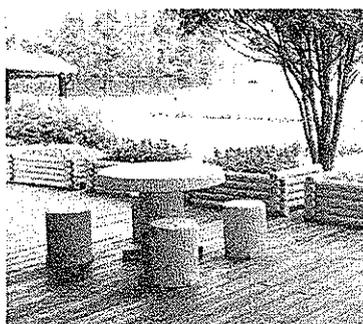
(3) 逗子市の容プラどう資源化？

今年の市の容プラはマテリアルリサイクル、つまりプラスチックに再生されています。ごみ問題部会は、市民のみなさんと横浜市金沢区の再生工場 (大誠産業KK) を見学してきました。

ここでは年間 850 t の市の容プラを選別 (容プラでないものがいろいろ混じっていますし、硬質のもの・軟質のもの・発砲スチロールなどに細分します)、洗浄、溶融し、写真のように原料に戻します。



プラスチックの原料



この原料を製品化する会社に販売して写真のような製品にします



大誠産業KK

見学風景

(4) 市役所の貸し傘返して！

昨年 10 月から市役所玄関に設置した貸し傘ですが、とても良く利用されていて、設置者としては大変うれしいのですが、残念なことに、返却されていないのが現状です。

このところ晴天が続いているのに傘立ては相変わらず空っぽです。

33本・借りた傘は返してちょうだい。お願いします。

二酸化炭素削減部会

暑かった夏 エコオフィスに挑戦!

抜き打ちの室温測定の結果、市の関連施設は率先して28℃!を維持し、エコオフィスへの転換を目指している事が分りました。

市役所は、3階の市長室はもちろん、1階から5階まで各階とも28℃でした。更に、図書館、逗子アリーナ、消防署等も、全て28℃以上でした。

一方市内のスーパーや銀行その他の民間施設には、27℃以下が見かけられました。

(測定日: 2005年8月19日(金)10:05~12:50まで・天候 晴れ 気温 33℃) 《二酸化炭素削減部会 会員測定》



《表はある二酸化炭素削減部会会員(一戸建て3人家族)の、平成15、16年度の環境家計簿です》

	15年度合計			16年度合計			前年度比削減量(額)と削減比率			
	使用量	CO2 排出量kg	金額(円)	使用量	CO2 排出量kg	金額(円)	削減量	削減率	削減額(円)	削減率
電気(kwh)	5539	1,994.0	139,370	4614	1,661.0	114,595	925	16.7%	24,775	17.8%
都市ガス(m ³)	496	1,041.6	72,444	368	772.8	55,079	128	25.8%	17,365	24.0%
水道(m ³)	328	190.0	72,320	282	165.9	54,940	46	12.7%	17,380	22.8%
灯油(L)	191	477.5	9,050	166	415.0	10,300	25	13.1%	(1,250)	-13.8%
ガソリン(L)	414	952.2	42,374	335	771.5	38,720	79	19.0%	3,654	8.6%
ごみ(kg)	283	237.9		120	100.8		163	57.6%		
合計		4,893.2	335,558		3,786.2	273,634	1,107	22.6%	61,924	18.5%

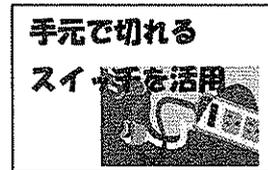
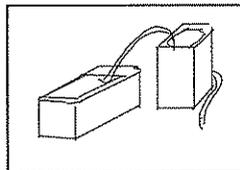
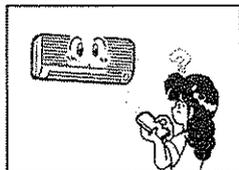
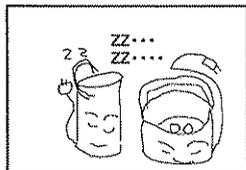
「こまめ」が大切。「家族の協力」が効果があるが一番難しい。

平均家庭のCO₂排出量5,589.4kg
(2.6人家族・ゴミ含まず)

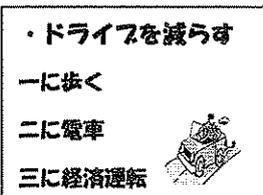
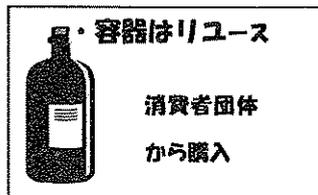
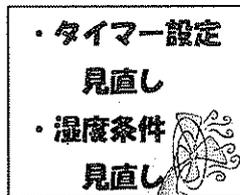
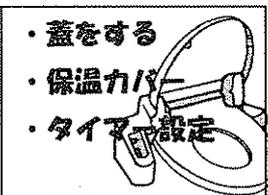
前年度比・CO₂排出量で22%金額で
6万2千円下がりました。

この家庭での主な取り組み—一戸建て3人家族の家庭での省エネルギー効果!—

- ・夜ジャー・ポットを止める。
- ・冷房は極力使わない
- ・風呂の残り湯を洗濯へ
- ・待機電力削減



- ・シャワーの時間を短く
- ・ウォシュレット対策
- ・床下換気扇対策
- ・ゴミ削減



15年度家庭ゴミ(生ゴミ込み) 25kg/月
16年度家庭ゴミ(生ゴミ堆肥: 77分別前) 13.7kg/月
77分別後: 6.3(773.8)kg/月

このような行動を行った結果、電気・都市ガス・水道・灯油・ガソリンの5品目と家庭から出るごみの減量効果は、平成15年度に比べて平成16年度は二酸化炭素排出量で23%、金額では19%減りました。この省エネ対策の効果が、いかに大きかったかがわかりました。